

# 入善町上原公民館

## ◆事業の目的

豊かな郷土を愛する大切さを親子で体験し、身近なふるさとの黒部川扇状地の自然を探検する。  
また、地域住民の皆さんと交流を図り、「そば種まき、そば打ち体験」、「正月用の門松作り」で豊かな心を育てる。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月26日(日)	黒部川扇状地たんけんツアー	入善町、黒部市宇奈月地内	18名
8月7日(日)	そば種まき体験	入善町上野地内	13名
11月12日(土)	そば打ち体験	健康交流プラザサンウエル	16名
12月25日(日)	正月用の門松作り	上原公民館	18名

## ◆事業の様子

### ☆ 黒部川扇状地たんけんツアー

講師の案内で入善町の国の天然記念物「杉沢の沢スギ」、  
「海洋深層水の施設見学」、黒部川の氾濫に備えた「霞堤」、  
黒部市宇奈月地内の「新川育成牧場」、加賀藩の命を受けた  
椎名道三による「十二貫用水路と竜ノ口用水路」、農業  
用水および電力発電の両面に利用できる「愛本堰堤」など  
黒部川扇状地の水の大切さ、恵みの数々を体験しました。



### ☆ そば種まき、そば打ち体験

8月上旬、地域の皆さんの協力で  
そば種まきを体験しました。子ども  
たちは手でつかみ、一生懸命に播き  
ました。11月上旬に収穫したそば  
を講師の指導でそば打ち体験し美味  
しく、そばをいただきました。



### ☆ 正月用の門松作り

10月下旬、青竹の採集、わら集め  
に、大変苦勞をしました。講師の指  
導により、三世代と地域の皆さんと  
が絆を深め、立派な正月用の門松が  
完成しました。



## ◆事業の成果と課題

黒部川扇状地の探検と体験を通して、黒部川に流れる多くの水が農地、飲料水、電力発電などに利用されている事を再認識しました。黒部川の氾濫の予防に対して、先人達の苦勞の多かった事も勉強になりました。また、そば種まき、そば打ち体験、正月用の門松作りにおきましては、三世代と地域の皆さんとの交流の場として、心の絆を深め、親睦を図る事ができました。